



『あびら再生可能エネルギー地産地消モデル』 安平町重点対策加速化事業に関するご説明資料

2026年4月17日

株式会社あびらエナジー

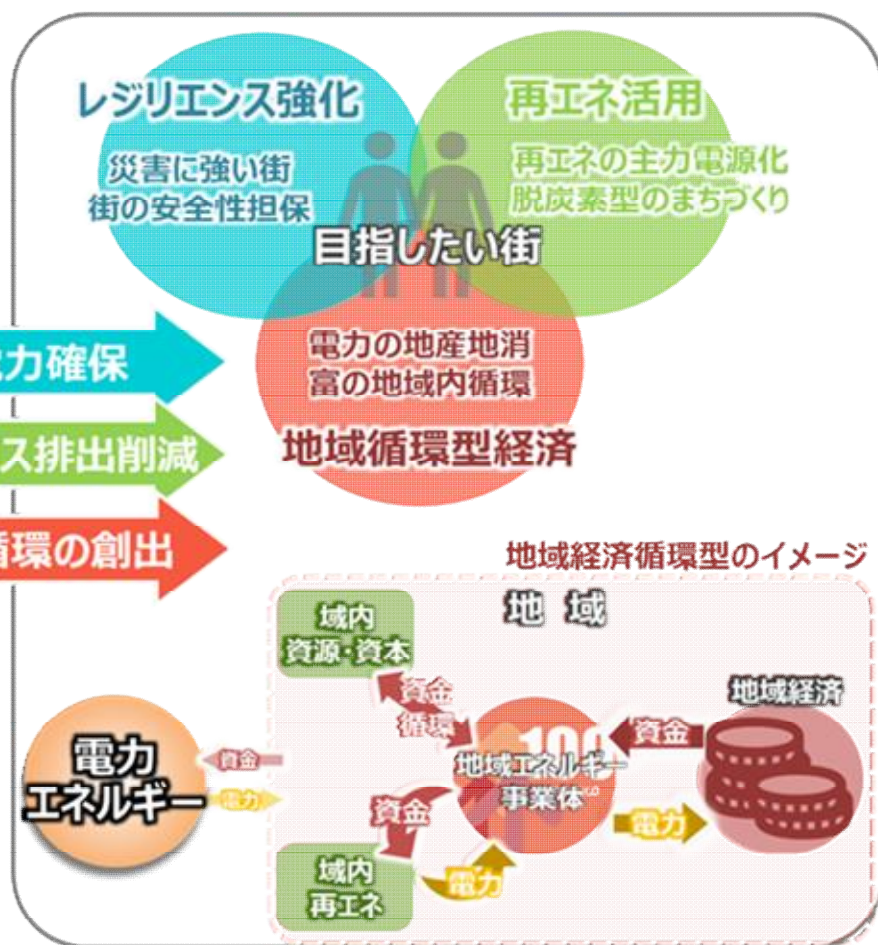
地産地消のエネルギービジネスの意義

自治体や地域企業、地方銀行などの参画を促進し、地域に賦存する再生可能エネルギーを活用して、地域でのエネルギー事業を推進することで、脱炭素化、レジリエンス向上、地域の資金循環を目指します。

現状



将来像



「あびら再生可能エネルギー地産地消モデル」事業概要

事業期間	令和7年度～令和12年度		
テーマ	あびら再生可能エネルギー地産地消モデル		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の電力を地産地消100%の再生可能エネルギーで供給。 ・北海道胆振東部地震における長期停電の経験を踏まえ、重点対策加速化事業により、災害本部や避難所等への発電設備や蓄電池の設置によるレジリエンスの向上を図る。 		
施策	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設16箇所への太陽光発電設備設置 ・公共施設16箇所への蓄電池設置 ・農地での営農型垂直太陽光発電設備の設置 ・24時間再エネベース電源システムの構築 ・民間事業者向けの太陽光発電設備の設置支援 		
総事業費	17.1億円	交付金額	7.6億円
設備導入 (合計)	太陽光発電設備（屋根置き、アレイ式、垂直型） 24箇所 DC：5,724.97kW AC：3,540.00kW		蓄電池設備 22箇所 容量：1,740kWh

公共施設の再エネ100%実現に向けた電力供給

あびらエネルギーによる電力供給方法

環境省の重点対策加速化事業により設置する安平町内の太陽光発電設備等により発電した電力を、あびらエネルギーから安平町の全ての公共施設に供給します。安平町の公共施設に対してあびらエネルギーが電力を供給することで、2030年度までに全ての公共施設の電力が再生可能エネルギーになります。

地域エネルギー会社（株式会社あびらエネルギー）

太陽光発電設備（垂直型／野立て／ソーラーシェアリング）



公共施設内の発電設備 屋根置き／垂直型等



電力
(小売)

安平町の全ての公共施設



電力
(PPA)

- 商号 : 株式会社あびらエナジー
- 所在地 : 北海道勇払郡安平町早来栄町72番地1
- 設立 : 2024年5月9日
- 代表取締役 : 北野史人 三村挑嗣
- 事業内容 : 安平町を中心とした再生可能エネルギー関連設備の構築、並びに運用・管理
安平町を中心とした再生可能エネルギーを活用したPPAサービス
再生可能エネルギーに関連する事業
- 主な株主 : 株式会社サンヴィレッジ、エイコーエナジオ株式会社、安平町
- 事業理念 : 再生可能エネルギーの地産地消を実現し、地域活性化とレジリエンス強化に貢献する
- ミッション : エネルギーの地産地消を通じて、地域脱炭素化とレジリエンスの向上、地域内資金循環を実現し持続可能な未来を創る